

小倉山通信

平成27年12月10日
No.32

家庭科保育体験 3年生

12月7日～10日の4日間にわたって角館保育園のご協力の下に、3年生の家庭科の授業、保育実習が始まりました。

初日は3年A組で、読み聞かせや園児と中学生と一緒に物づくりをして体験学習をしていました。

事前学習では、家庭科の時間に、生徒が園児の代わりになって、それぞれの活動を練習しました。おもしろかったのは、読み聞かせの絵本に出てくる主人公の名前と生徒の名前が一致している本を選んだ生徒でした。年齢が進むとその面白さが分かり、楽しくなるのですが、2歳児だったので、お話優先で終わりました。

体験した生徒の感想を聞くと「楽しかった」「かわいかった」と笑顔で話してくれました。読み聞かせ担当以外の生徒が、その時間中ずうっと園児を抱っこしていましたが、抱かれていた園児もいやがらずにむしろうれしそうにしていたのが印象的でした。

角館保育園は園児が現在約230名ほどだそうです。中学生に出身保育園等を聞いたら、幼稚園、西保育園、角館保育園などでした。

4日間にわたり、ご協力くださいました角館保育園の職員の皆様に感謝申し上げます。



優勝トロフィー 桐の箱

高円宮杯第67回全日本中学校英語弁論大会秋田県大会で本校の戸澤彩さんが優勝したことは、前に紹介しました。

この記事が学校通信でご覧になった白岩小学校の柴田校長先生から、私に電話が来ました。

「角館中学校で、戸澤さんが英語弁論大会で優勝したのを知りました。戸澤さんは優勝したときにトロフィーを持ってきたと思いますが、そのときに、桐の箱に入っていないませんでしたか？」

「トロフィーしか見てなくて、申し訳ありません。」

「実は、私が大仙市立西仙北東中学校に平成20年に在職していましたが、そのときに東中学校の

生徒で俵谷翔吾という生徒が英語弁論大会の秋田県大会で優勝しました。彼は、そのときに今のトロフィーを学校に持ってきました。ところが、トロフィーが入っていた箱がぼろぼろでとてもみっともなかったのですね。それを見た、俵谷さんのおじいちゃんが、『じゃあ、私が箱をつくってやりましょう』と言って、今の桐の箱をつくり大会事務局に寄贈したのです。箱のふたの裏に、寄贈者の名前が貼ってあると思います。」

「分かりました。早速確認してみます。」

「東中学校では、その翌年も小木田という生徒が全県優勝しました。」

「そうですね。そしてその翌年に私が東中学校に赴任したのですね。その優勝の桐の箱がまた今私のいる角館中学校に来ていなんて、運命を感じますね。教えてください、ありがとうございました。」



電話をいただいてからすぐに栄光の間に行き、早速確認したら、柴田校長先生の言った通りでした。写真で見るとより実際は大きく立派です。大曲仙北の英語の力が、この桐の箱に収められているような感覚になりました。俵谷繁浩様（俵谷翔吾さんのおじいちゃん）ありがとうございました。

県南児童生徒美術展(平福美術館) 入賞多数 美術部展 スケッチ展も一緒に開催

学校通信No.30でお知らせしたように、角館町の平福美術館では、本校美術部員による「美術展」並びに全校スケッチ大会や普段の美術の授業で制作した作品展が開催されています。

入り口付近の左の部屋が本校の美術展で、奥にいくと、県南児童生徒美術展が開催されています。

本校では、金野淳平さんが「美術館長賞」を受賞しました。

入賞した生徒の名前を紹介いたします。

◎ 県南児童生徒美術展入賞者 ○数字は学年

- ・特賞
金野淳平さん③ 「心の中」
- ・奨励賞
藤谷桃華さん②、小松佳純さん③、高橋天さん③

阿部春音さん③、佐々木唯衣さん③、小林凜夢さん③
戸堀亜美さん③、山本和輝さん③、石郷岡美来さん③

・入選

鎌田音々さん②、千葉智華さん②、皆川真優さん③
伊藤花さん③、黒坂騎羅弥さん③、鈴木大樹さん③
阿部有沙さん③、佐藤嗣也さん③

1月28日(木)まで展示していますので、冬季休業中、是非ご鑑賞ください。(仙北市民は入場料無料です。)



金野淳平さん 「心の中」

総合的な学習の時間から

今年度本校では、「総合的な学習の時間」で、ふるさと教育の一環として「角館の桜」「角館のお祭り」について、探究的な学習を行いました。その作品等については、「すすかけ祭」で展示いたしました。

その中でも3年生は「桜新聞」を作成しました。今回は、3年A組の伊沢菜々香さんの「桜新聞」の内容について紹介します。

総合的な学習の時間 角館桜新聞から

3年A組2番 伊沢菜々香さん

突然ですが、皆さんは「エドヒガンザクラ」をご存じでしょうか？実は「エドヒガンザクラ」とは「シダレザクラ」の正式名称なのです！！「エドヒガンザクラ」がしだれになったものが「シダレザクラ」つまり「エドヒガンザクラ」の変種が「シダレザクラ」ということなのです。

武家屋敷は1900年に大火で一度燃えていますが、残ったシダレザクラとその後植栽された400本が現在まで残り、そのうちの153本が昭和28年に秋田県の天然記念物に指定されました。さらに昭和49年には国の天然記念物にもなりました。

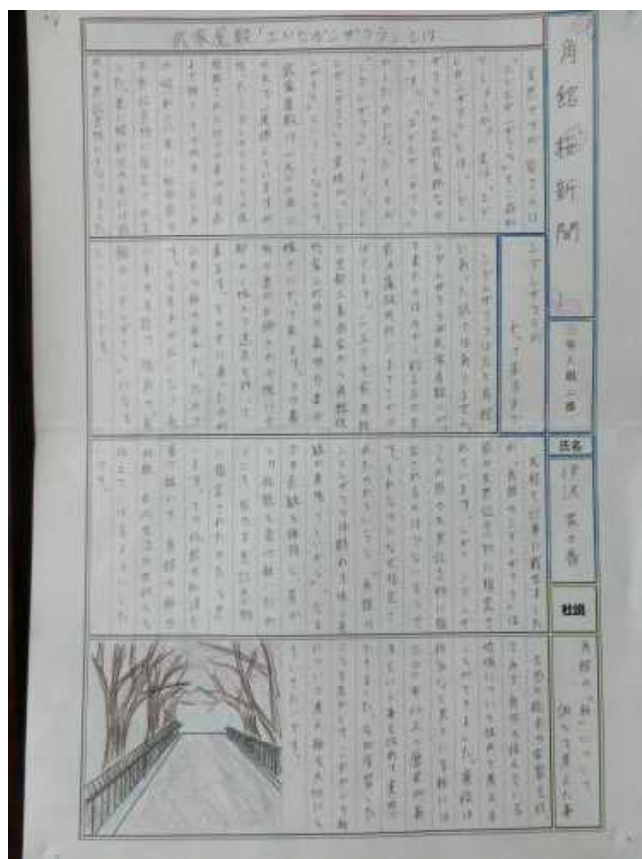
○ シダレザクラがやってくるまで

シダレザクラは元々角館にあったわけではありません。シダレザクラが武家屋敷にやってきたのは、今から350年前の藩政時代にまでさかのぼります。350年前、角館に京都三条西家から角館佐竹家二代目の義明の妻が嫁ぎにやってきます。その義明の妻がお輿入れの際に京都から嫁入り道具を持ってきます。その中があったのが三本の桜の苗木だったのです。その苗

木が元になり、長い年月を経て、現在の「角館のシダレザクラ」になるということです。

なぜ「角館のシダレザクラ」が天然記念物になったのか。シダレザクラが天然記念物に指定されるのは珍しいことだそうです。「角館のシダレザクラは群れて咲く景観が素晴らしい」から指定されたそうです。今までの景観を維持し、昔からの伝統を受け継いだからこそ、国の天然記念物に指定されたのだと思います。その伝統を私たちも受け継いで、角館の桜の伝統・文化を次の世代へと伝えていけるようにしたいです。

今回の総合的な学習を行ってみて、自分の住んでいる地域について改めて考えることができました。普段は何気なく見ている桜には、300年以上の歴史があるということを、改めて実感できました。今回学習したことを生かしてこれからも桜について考え、桜を大切にしていきたいです。



◎ 第1回能代市風の松原中学校卓球大会 女子3位 (12月5日能代市総合体育館)

Aブロック, Bブロックに各7チームに分かれて開催されました。

・予選Bブロック 5勝1敗

角館●2-3○井川
角館○3-1●北陽
角館○3-0●能代二A
角館○3-0●小坂
角館○3-1●城南
角館○3-1●能代一

・順位決定戦

角館●2-3○天王